

The Northern eXpress to 212

NeXT-212 press

41

オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行
PM実践講座事務局 / 地域メディア研究所
Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

vol.41 18.Jun,2001

- データで読む財政危機 -10 212 市町村の財政状況を 9 段階評価
- 212 ふるさと情報 町長のあいさつ、動画で配信
- 最前線レポート 地球温暖化防止を町ぐるみで推進
- 自治体北南 町長候補インターネット公募に 24 人
- B O O K 「地球温暖化問題」を考える

都会のネズミ vs. 田舎のネズミ

▼...「君らの暮らしは、アリと同じだね。僕の所にちょっと来てくれたまえ。なんでも思いのままだよ。」「アリ」と呼ばれたネズミは、都会を羨ましく思った。そんなイソップの寓話を、小泉内閣のタウンミーティングのライブ中継を見ながら連想した。確かに「アリのまち」にだって、都市並みの下水道は欲しいし、高速道路もあれば便利だ。

▼...改革論議の矛先が地方に向けられがちな中で、地方の不安は増幅している。対話集会が陳情の場になりがちなのも致し方ないか。「長野県がダム事業を返上するなら、その分を我が町に」。ある首長は、予算獲得合戦と「地域間競争」の区別を付けかねている。「改革の痛み」が何なのか、確かに地方には戸惑

いの色を見て取れる。

▼...鹿児島集会では、石原伸晃行革担当相が「必要なもの、いらないものをはっきり言わないと、『都市対地方』の構図になってしまう」と冷静な議論を求める一幕もあった。確かにその通りだ。対立の果ては「田舎がいやなら都会に集まれ」ということになりかねない。

▼...「麦をかじっていても、田舎暮らしをやっていききたいと思うんだよ」。寓話の結末は、そんな田舎のネズミの言葉で終わる。しかし、イソップは都会と田舎の善し悪しではなく、その土地に住む者の生き方・選択を問いかけているのだと思う。地域のあり方・生き方を明確にできるマチにとって、小泉改革はチャンスでもある。 (梶)

データで読む財政危機

財政評価～99年度版【市】

99年度道内市町村決算から NO.10

99年度	借金体質	弾力性	財政力	財政基盤	健全度	総合
札幌市	50.9 D	56.0 C	62.8 A	59.3 B	53.4 C	56.5 C
函館市	51.6 D+	46.1 E	58.5 B	55.8 C	53.0 C	53.0 C
小樽市	48.6 D-	45.9 E	55.1 C	53.7 C	53.2 C	51.3 D+
旭川市	45.1 E	55.9 C	58.1 B	56.7 C	50.3 D	53.2 C
室蘭市	53.1 C	45.8 E	61.5 B	64.9 A	55.6 C	56.2 C
釧路市	42.7 E	48.6 D-	56.6 C	58.4 B	52.0 D+	51.6 D+
帯広市	47.3 E	51.8 D+	59.2 B	58.9 B	51.4 D+	53.7 C
北見市	45.7 E	54.2 C	56.7 C	60.5 B	54.3 C	54.3 C
夕張市	34.4 G	37.0 G	41.5 F	42.8 E	33.4 G	37.8 F
岩見沢市	50.1 D	52.8 C	55.1 C	57.1 C	54.6 C	53.9 C
網走市	36.1 G	54.5 C	54.0 C	57.3 C	52.2 D+	50.8 D
留萌市	39.8 F	39.7 F	53.3 C	53.9 C	43.8 E	46.1 E
苫小牧市	45.6 E	56.2 C	69.2 A	68.3 A	55.4 C	59.0 B
稚内市	49.2 D	51.7 D+	53.6 C	58.9 B	53.4 C	53.4 C
美唄市	46.9 E	51.4 D+	48.5 D-	50.1 D	35.1 G	46.4 E
芦別市	46.7 E	41.2 F	46.5 E	47.3 E	38.1 F	43.9 E
江別市	52.4 D+	52.4 D+	57.8 B	60.2 B	53.0 C	55.2 C
赤平市	49.6 D	36.3 G	49.0 D	49.2 D	43.5 E	45.5 E
紋別市	40.8 F	47.5 D-	50.7 D	58.5 B	47.0 E	48.9 D-
士別市	47.1 E	41.8 F	50.2 D	51.2 D+	43.6 E	46.8 E
名寄市	47.8 D-	43.6 E	52.6 C	53.1 C	46.5 E	48.7 D-
三笠市	33.4 G	35.7 G	46.0 E	45.7 E	48.1 D-	41.8 F
根室市	44.3 E	37.6 F	52.1 D+	57.2 C	45.9 E	47.4 E
千歳市	52.9 C	54.5 C	67.4 A	68.0 A	46.9 E	57.9 B
滝川市	44.5 E	46.1 E	53.6 C	53.8 C	44.7 E	48.6 D-
砂川市	43.2 E	48.5 D-	53.8 C	54.1 C	48.1 D-	49.5 D
歌志内市	51.2 D+	36.6 G	51.4 D+	36.7 G	43.9 E	44.0 E
深川市	52.4 D+	48.3 D-	49.3 D	51.2 D+	50.0 D	50.2 D
富良野市	58.6 B	47.4 E	53.3 C	53.7 C	51.5 D+	52.9 C
登別市	50.3 D	50.2 D	56.2 C	53.6 C	49.7 D	52.0 D+
恵庭市	48.4 D-	49.5 D	61.8 B	61.9 B	43.5 E	53.0 C
伊達市	46.7 E	43.7 E	55.5 C	53.0 C	45.2 E	48.8 D-
北広島市	53.3 C	49.1 D	65.3 A	58.5 B	46.0 E	54.5 C
石狩市	46.8 E	59.4 B	64.4 A	58.1 B	50.8 D	55.9 C

財政指標基に212市町村を相対評価

道内212市町村の99年度決算から浮かび上がる財政指標を基に各自治体の財政状況を「借金体質」「弾力性」「財政力」「財政基盤」「健全度」の5項目について評価してみました。「標準偏差」という相対的な

評価によって、地方財政にとって好ましいとされるものから順に、AからGまでランク分けしてあります。中間レベルに位置するDについては、より上位に近いもの、下位に近いもののそれぞれにプラス、

マイナスを付しました。数字は50を中間値とする「標準偏差値」で、高いほど好ましい状況にあることを示します。あくまでも、212市町村についての相対評価ですので、自治体間の比較の目安として見て下さい。

NeXT212
press

道内212市町村の財政評価～99年度版【石狩・渡島・檜山】

99 年 度	借金体質	弾 力 性	財 政 力	財政基盤	健 全 度	総 合
■ 石狩管内						
当 別 町	44.6 E	51.8 D+	56.1 C	57.7 B	44.1 E	50.9 D
新 篠 津 村	37.7 F	49.3 D	48.0 D-	58.3 B	55.9 C	49.8 D
厚 田 村	57.4 C	42.3 F	46.0 E	41.0 F	44.0 E	46.2 E
浜 益 村	47.3 E	39.2 F	51.3 D+	32.2 G	46.5 E	43.3 E
■ 渡島管内						
松 前 町	46.4 E	35.9 G	46.2 E	42.4 F	50.4 D	44.3 E
福 島 町	49.2 D	43.6 E	50.4 D	44.8 E	55.6 C	48.7 D-
知 内 町	50.3 D	56.3 C	58.4 B	48.9 D-	53.8 C	53.5 C
木 古 内 町	58.7 B	48.0 D-	49.2 D	46.3 E	53.4 C	51.1 D+
上 磯 町	56.5 C	56.1 C	59.6 B	60.9 B	50.9 D	56.8 C
大 野 町	53.9 C	59.7 B	50.9 D	54.6 C	56.4 C	55.1 C
■ 檜山管内						
七 飯 町	53.2 C	57.1 C	55.3 C	55.2 C	50.7 D	54.3 C
戸 井 町	58.6 B	42.1 F	41.4 F	41.8 F	52.5 C	47.3 E
恵 山 町	48.2 D-	35.0 G	44.1 E	42.5 E	52.0 D+	44.3 E
椴 法 華 村	58.9 B	51.7 D+	46.2 E	42.8 E	59.5 B	51.8 D+
南 茅 部 町	41.6 F	45.2 E	44.0 E	41.6 F	53.6 C	45.2 E
■ 釧路管内						
鹿 部 町	53.3 C	54.6 C	48.9 D-	57.6 B	60.1 B	54.9 C
砂 原 町	52.4 D+	48.0 D-	45.6 E	54.7 C	43.2 E	48.8 D-
森 町	50.4 D	54.9 C	48.9 D-	51.6 D+	48.8 D-	50.9 D
八 雲 町	64.4 A	56.8 C	52.1 D+	52.4 D+	51.8 D+	55.5 C
長 万 部 町	56.0 C	48.8 D-	46.2 E	48.4 D-	44.1 E	48.7 D-
■ 十勝管内						
江 差 町	38.8 F	47.9 D-	51.9 D+	49.7 D	53.6 C	48.4 D-
上ノ国町	44.9 E	45.2 E	47.0 E	43.9 E	50.5 D	46.3 E
厚 沢 部 町	64.6 A	56.0 C	45.9 E	45.6 E	49.6 D	52.3 D+
乙 部 町	50.7 D	54.5 C	43.2 E	46.1 E	53.7 C	49.7 D
熊 石 町	51.8 D+	40.9 F	43.0 E	38.3 F	41.0 F	43.0 E
■ 空知管内						
大 成 町	47.2 E	39.0 F	42.9 E	39.7 F	53.1 C	44.4 E
奥 尻 町	45.1 E	50.7 D	47.0 E	47.2 E	53.1 C	48.6 D-
瀬 棚 町	40.9 F	41.1 F	44.2 E	43.4 E	51.0 D+	44.1 E
北 桧 山 町	51.8 D+	46.4 E	47.3 E	46.1 E	43.9 E	47.1 E
今 金 町	56.1 C	51.4 D+	45.8 E	44.6 E	53.3 C	50.3 D

自活能力・危険因子など5項目抽出

■ 借金体質 まちの財政が借金に依存しすぎてないか、返済能力を上回る借金を背負い込んでいないか。(地方債残高、公債費比率、起債制限比率、地方債依存度など)

■ 弾力性 住民の行政ニーズや財政需要にどれだけ柔軟に対応できるか、国の枠組みにとらわれず、地域の実情に即し

た、積極的な行政が展開できるかどうか「自主性」を評価。(経常収支比率、地方交付税依存度、義務的経費比率など)

■ 財政力 自治体の自律の「基礎体力」、自前の財源をどれだけ持っているかが目安。(財政力指数、地方税収入、税収増減率など)

■ 財政基盤 まちの財政力

を支える人口の動きと地域の生産力。(人口増加率、生産人口比率、製造品出荷額など＝主に95年国勢調査による)

■ 健全度 一般会計からの持ち出し・赤字補てんなど財政の危険因子。(繰出金比率、債務負担行為・積立金比率など)

■ 総合 以上の5項目について総合的に財政状況の評価。

道内212市町村の財政評価～99年度版【後志・空知】

99年度	借金体質	弾力性	財政力	財政基盤	健全度	総合
■ 後志管内						
島牧村	45.7 E	43.7 E	44.0 E	37.8 F	53.8 C	45.0 E
寿都町	46.5 E	36.3 G	46.8 E	42.0 F	47.1 E	43.7 E
黒松内町	58.1 B	48.7 D-	45.5 E	45.1 E	50.1 D	49.5 D
蘭越町	52.1 D+	52.3 D+	45.8 E	41.0 F	49.8 D	48.2 D-
二セコ町	53.3 C	52.9 C	48.8 D-	48.1 D-	52.0 D+	51.0 D+
■ 空知管内						
真狩村	54.6 C	52.0 D+	48.8 D-	42.6 E	51.2 D+	49.8 D
留寿都村	69.0 A	62.3 B	51.9 D+	54.0 C	61.9 B	59.8 B
喜茂別町	60.7 B	51.9 D+	42.0 F	51.3 D+	53.8 C	51.9 D+
京極町	59.0 B	55.2 C	47.8 D-	48.6 D-	53.2 C	52.7 C
倶知安町	47.4 E	51.8 D+	55.3 C	54.0 C	44.8 E	50.7 D
共和町	54.0 C	52.0 D+	45.5 E	47.9 D-	54.7 C	50.8 D
岩内町	36.6 F	40.2 F	51.5 D+	50.3 D	48.5 D-	45.4 E
泊村	70.0 A	78.4 A	113.4 A	33.1 G	55.8 C	70.1 A
神恵内村	47.1 E	36.8 G	43.6 E	40.3 F	51.2 D+	43.8 E
積丹町	50.6 D	43.5 E	44.3 E	39.6 F	46.2 E	44.8 E
古平町	51.6 D+	36.5 G	48.3 D-	51.6 D+	47.1 E	47.0 E
仁木町	50.5 D	55.9 C	44.6 E	43.7 E	56.8 C	50.3 D
余市町	54.2 C	47.5 D-	52.2 D+	50.6 D	41.2 F	49.1 D
赤井川村	45.9 E	48.8 D-	57.2 C	60.6 B	52.9 C	53.1 C
■ 空知管内						
北村	46.0 E	61.9 B	45.6 E	44.5 E	51.9 D+	50.0 D
栗沢町	56.3 C	58.1 B	47.6 D-	45.9 E	49.5 D	51.5 D+
南幌町	41.8 F	55.6 C	51.1 D+	64.0 A	48.1 D-	52.1 D+
奈井江町	46.8 E	57.0 C	46.1 E	51.5 D+	47.2 E	49.7 D
上砂川町	22.2 G	42.9 E	42.8 E	42.2 F	27.7 G	35.5 G
由仁町	46.6 E	62.1 B	44.8 E	50.3 D	49.0 D	50.6 D
長沼町	46.2 E	58.0 B	47.9 D-	51.5 D+	51.3 D+	51.0 D
栗山町	49.7 D	60.5 B	52.0 D+	55.0 C	46.8 E	52.8 C
月形町	54.6 C	49.7 D	47.6 D-	46.6 E	52.7 C	50.2 D
浦臼町	47.1 E	51.0 D	43.3 E	44.4 E	52.7 C	47.7 D-
新十津川町	51.5 D+	54.1 C	46.1 E	43.4 E	52.1 D+	49.4 D
妹背牛町	51.1 D+	45.3 E	47.4 E	52.5 D+	47.0 E	48.7 D-
秩父別町	56.0 C	58.5 B	46.4 E	44.5 E	57.4 C	52.6 C
雨竜町	36.5 G	43.2 E	44.1 E	47.0 E	51.4 D+	44.4 E
北竜町	54.1 C	52.0 D+	49.0 D	41.6 F	51.5 D+	49.7 D
沼田町	55.1 C	62.9 A	46.5 E	49.5 D	57.8 B	54.3 C
幌加内町	55.7 C	58.6 B	44.4 E	44.7 E	54.4 C	51.6 D+

C「ますます」、E以下は「要注意」

表中の数字は、212市町村の平均的な財政状態を50として、その標準的な位置からどの程度上または下にあるかを示しています。アルファベットは、この数値を基に9段階に区

分したものです。

Dが平均レベルにあることを示し、D+は平均よりやや上、D-はやや下となります。Aが最上位、Gが最下位ですが、両極に近づくほど自治体の数

は急減します。従って、大まかな目安として、Cは比較的良好な状態、逆にEは要注意、FとGはかなり厳しい財政状態にあると見てよいでしょう。

(残りの市町村は次号に掲載)

拾い読み H P

212 ふるさと情報

■ 6/15 鹿追町 「町長あいさつ」の動画配

信
IT 講
習 会
の 速
報
ペ ー
ジで、
同 講

習会で使用した「町長あいさつ」など2つの動画ファイルを提供しています。いずれもストリーミング、ポップアップ再生、ダウンロードが選択できます。動画のネット提供は、道知事会見など一部で見られますが、来訪者の通信環境、操作レベルなどを、どこまで考慮するかなど難しい問題もあると思います。同ページの場合、一般的な通信環境でストレスなく見られるよう配慮されていると感じますが、来訪者の反応はどうなのでしょう。分析結果の掲載に期待したいものです。

■ 6/15 中富良野町 早咲きラベンダー色づく「ラベンダー開花情報」に、「早咲きラベンダー（濃紫早咲）が色づいてきました」との情報がアップされています。掲載されている写真は富良野川沿いの桜つつみにある早咲きラベンダーで、同町は、いよいよラベンダーの季節を迎えたようです。

■ 6/15 七飯町 町長がネットで「議会報告」「町長室から」に、町長が6月議会の報告を掲載しており、町村合併の検討方法や、小泉内閣誕生による地方財政への影響、町の懸案事項などについて、「議会だよりの補足」との位置付けで、考えを述べています。

■ 6/15 浜頓別町 世界砂金堀り浜頓別大会 来年開催される「2002年 世界砂金堀り浜頓別大会」の詳しい情報と、参加申し込みフォームなどがアップされています。バケツに入った

20kgの砂の中から、主催者が予め混入した数の砂金を、いかに早く正確に見つけ出すかを競うそうです。

■ 6/13 稚内市 まちづくりフォーラムとガウディ展 6月24日から7月1日にかけて開かれる「稚内まちづくりフォーラムとガウディ展」のポスターと詳しい情報がアップされています。建築家ガウディのまちづくり思想を同市のまちづくりにも生かしていこうと企画されたもので、模型や設計図などを集めた同展のほか、期間中、フォーラムや基調講演、パネルディスカッションなどの催しが予定されているようです。

■ 6/12 生田原町 高品質木炭「エコー21」「特産品」コーナーに、町内の異業種5社が提携して組合を組織、開発を進めてきた環境用高品質木炭「エコー21」の詳しい情報がアップされています。町特産の、きのこ栽培からでる廃培地（おがくず）などの木質原料に着目、付加価値化と再資源化を目的に開発したそうで、有害物質の吸着、脱臭、調湿、水質浄化などの特徴を挙げ、住宅や農業・ゴルフ場、廃棄物処理、漁業など幅広い分野での活用事例などを紹介しています。

■ 6/12 滝川市 たきかわ文化通信 市内の文化情報をまとめた「たきかわ文化通信」が掲載されて

います。市民ミュー
ジカルの
詳しい内
容や最新
情報、文化
施設の紹
介などが

あるほか、今後、文化財関連の情報などもアップされるようです。

（注：アクセスは<http://com212.com>からどうぞ）



NEWS



● 6/7 玉名市
(熊本県) 安全で美
しい環境目指し住民
ネットワーク

玉名青年会議所や
「玉名のゴミを考え
る会」など玉名市周
辺の15の団体が、安
全な環境やごみのない地域づくりを連携して
進めるため「玉名地区環境ネットワーク(仮
称)」設立の準備会を開いた。将来の市町村合
併を踏まえたネットワークの拡大・連携など
も検討していく。

● 6/7 小浜町(長崎県) 温泉保養3セク
を民間主導で再建へ

島原半島の1市16町や
雲仙観光協会などが出資
し、小浜町で多目的温泉
保養館「雲仙スパハウス」
を経営する第三セクター・
島原半島振興は、同町内
の建設会社が全株式の約
75%を取得し、実質的な
経営に当たることになっ
た。観光客の減少などで
2000年度末の累積赤字は約
1億円にふくらみ、再建の
道を模索していた。

● 6/6 大船渡市・三陸
町(岩手県) 任意合併協
が発足

大船渡市と三陸町の任意の合併協議会が、
正式発足した。両市町の三役、議会の正副議
長、議員代表、地元選出県議、岩手県幹部、農、
漁業、商工、青年団体の代表者らで構成し、合
併協議項目の検討や建設計画案の作成などに
当たる。一方、三陸町内の住民団体「合併問題
を考える会」は、佐々木菊夫町長に大船渡市と
の合併の可否を問う住民投票条例の制定を求

める直接請求書を提出した。

● 6/5 白川村(岐阜県) 自然環境教育セ
ンターを整備

世界文化遺産に指定されている白川郷合掌
集落がある白川村に、トヨタ自動車が自然環
境教育センターを設立することになった。約7
ヘクタールの同社所有の山林に宿泊研修施棟、
オートキャンプ場などとともに、風力や太陽
熱利用施設や汚水や生ごみの処理装置などが
整備され、自然の中で体験型の教育が受けら
れる。2005年のオープン予定。

● 6/5 高知県 市町村合併議論推進で補助
金

高知県は、市町村合併についての自治体や
民間団体の主体的な議論や調査研究を支援す

るため、県単独の「市町村
合併支援事業費補助金」を
創設した。農協や青年会議
所、商工会議所、NPOな
どが中心となった団体も
対象に、1団体当たりの
100万円を限度に事例調
査、住民アンケート、シン
ポジウム開催などの事業
に補助する。

● 6/4 鶴田町(鹿児島
県) 「水と緑の郷」推進協
が発足

大口、薩摩、鶴田、宮之
城の1市3町と国、鹿児島

県で構成し、個性的で魅力ある広域観光ルー
ト、地域づくりを目指す「奥薩摩・水と緑の郷
づくり」推進協議会が発足した。4市町の商工
会、観光協会、地域づくりの民間団体を中心に
構想策定部会を設置し、地域の資源を生かし
た自然体感・交流拠点などの具体的な振興策
を策定する。

(詳細情報は事務局にお問い合わせ下さい)

多彩な顔ぶれ全国から 町長候補公募に24人

神奈川県愛川町の市民団体「あいか
わ町民ネット」が10月に行われる町長
選の候補者をインターネットで公募し
たところ、全国から24人の応募があっ
た。25歳から64歳までの男性で、現職
の市助役や県職員、大学講師、企業コン
サルタント、会社員ら多彩な顔ぶれ。ノ
ルウェー、米国在住者もいた。町民で構
成する選考委員が近く候補者を5人程
度に絞り込む。(6/15)

温暖化防止を町民総ぐるみで推進

八木町は、豊かな自然環境と共生する未来型のクリーンエネルギーシステムを導入し、地球にやさしい町「エコタウン」づくりを進めています。太陽光、風力、バイオエネルギーを活用した積極的な取り組みが、町民の間にしっかりと根付き、核的な存在でもあるバイオエコロジーセンターでメタンガスから発電した電力が、この5月から関西電力に売電されています。

バイオエコロジーセンターは、乳牛、豚の糞尿や食品工場の植物性廃棄物を発酵させて発生するメタンガスを利用した発電システムを整備し、最大発電能力は1日当たり2400kw。施設内の消費電力を除いても700kwの余剰電力があり、売電により年間80万～90万円の収入が見込まれるそうです。センターでは年間約7千トンの堆肥が製造され、農地に還元されています。

■余剰電力を売電、住民向け補助制度も

町内の2つの小学校と町立防災センターにはソーラーシステム、小型風力発電設備が導入され、教室の照明のほかホタルの養殖施設にも利用され、子どもたちの環境学習に結び付いています。余剰分の売電システムを備え、災害時の非常電源としても利用できる体制が取られてい



小学校のソーラーシステム

るのも、大きな特徴です。また、町立デイサービスセンターでは、太陽光によって年間約3200メガカロリーの熱エネルギーを確保し、高齢者らの入浴サービスに活用されています。

地球温暖化防止対策の一環として、町民のクリーンエネルギー利用を積極的に支援し、環境への負荷の少ない循環型社会を目指そうと、99年度には太陽光発電システムを設置する町民に対する補助金制度が整備されました。1kw当たり10万円で40万円を限度に補助する仕組みで、町民の環境に対する意識も高まりを見せています。

地域に密着した小規模分散型のエネルギー供給のモデル的な取り組みとして、八木町の試みが注目されます。

NEXT212 INFORMATION



町長のための 行政評価入門講座

地域メディア研究所は、本誌連載の「行政評価」シリーズの総集編『町長のための行政評価 分かりやすい 入門講座』(A4判60ページ・定価600円)を刊行しました。

011-761-6039

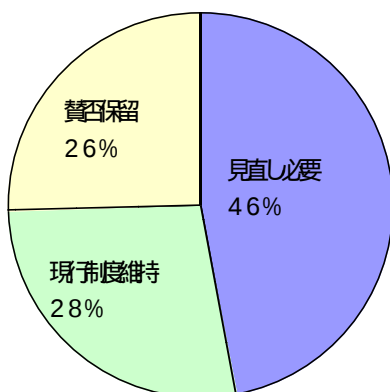
近郊農業の町 京都市近郊の田園地帯にあり、稲作をはじめ、特産の野菜づくりや酪農を中心とした畜産が盛ん。人口約9300人。65歳以上の高齢者人口が25%を超え、財政規模は約53億円(2001年度一般会計) 財政力指数0.28。

NeXT212
press

DATA

交付税見直し 46% 支持

小泉内閣が掲げる構造改革の焦点である地方交付税制度について、6月上旬に47都道府県知事にアンケート調査したところ、「何らかの見直しが必要」と答えた知事は埼玉、千葉、兵庫、福岡など22人、「現行制度の維持」が望ましいと答えたのは新潟、愛知、京都など13人で、残り12人は賛否を保留した。（日本経済新聞）



BOOK

おすすめ 入門向け

【地球温暖化問題関連図書】

● エネルギーと国の役割～地球温暖化時代の税制を考える 十市勉・小川芳樹・佐川直人著、コロナ社刊。1700円、2001年5月発行。

● 地球温暖化予測情報・第4巻 気象庁編、財務省印刷局刊。2600円、2001年4月発行。

● 2010年地球温暖化防止シナリオ 水谷洋一編著、実教出版刊。1900円、2000年11月発行。

● 欲望する環境市場～地球温暖化防止条約では地球は救えない 江沢誠著、新評論刊。2500円、2000年11月発行。

● 新・南北問題～地球温暖化からみた21世紀の構図 南北問題は急加速する地球温暖化によって様相を一変。経済格差の拡大、気象災害の激発に苦しむ重債務貧困国の現状に迫る。さがら邦夫著、藤原書店刊。2800円、2000年7月発行。

よくわかる地球温暖化問題 地球温暖化問題の理解に必要な情報の要点をビジュアルな編集で解説。気候ネットワーク編、中央法規出版刊。1800円、2000年6月発行。

● 2時間即決環境問題 環境ホルモン・地球温暖化・酸性雨・オゾン層の破壊など環境問題を総合的に解説。本間善夫著、数研出版刊。650円、2000年4月発行。

● 人類の営みと環境の危機（作陽ブックレット13）人口激増の歴史は、エネルギー確保の歴史であり、森林をはじめとする環境破壊の歴史だった。350万年に及ぶ人類史の中に、酸性雨、地球温暖化、オゾン層破壊など現代の環境破壊の深層を探り出す。湯浅赳男著、作陽学園出版部刊。500円、2000年3月発行。

● エコロジカルライフのすすめ～地球温暖化を防ぐ 炭酸ガスの排出を個人レベルでできるだけ減らす「地球に優しい」暮らし方をガイド。世田正光著、文芸社刊。1000円、2000年3月発行。

● 農業と気象～地球温暖化のなかで 内嶋善兵衛著、鉾脈社刊。1600円、2000年2月発行。

地球持続の技術（岩波新書）2050年までにエネルギー効率3倍増、自然エネルギー2倍増を目指す完全循環型社会への道を提起。小宮山宏著、岩波書店刊。740円、99年12月発行。

● 地球温暖化への挑戦（環境経済・政策学会年報第4号）京都会議以降の温暖化問題の本質を衝く熱い議論の動向を紹介。環境経済・政策学会編、東洋経済新報社刊。2600円、99年9月発行。



com212.com

Compagnie pour
communiquer et
aider les autres

INFORMATION

本紙の継続配信とバックナンバーをご希望の場合は、下記にお問い合わせ下さい。（配信は無料です）

事務局：電話 011（761）6039

E-mail：webmaster@com212.com

NeXT
press 212